



シラバス参照

タイトル「2018年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	教養演習Ⅱ		
担当教員	菊池 壮蔵		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:F
講義室			
開講学期	後期		
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
準備事項			
備考			
ナンバリング			
授業概要とねらい	<p>様々な「情報」を読むということ、様々な方法で伝えるという事。 (1)読むということ ・いろいろな形のメディアに含まれる「情報」の掘り下げ方を考える。 ・様々な「情報」の作られ方を考える。 ・「情報」を伝える「ことば」を考える(専門用語と日常用語の区別/呪文やスローガンに隠された意味など) (2)伝えるということ ・「新書」程度の書籍の内容紹介をクラスの中で行う(当該書籍を読んでいない人々に伝える)。</p>		
望ましい水準	自ら読み解いた事柄を、きちんと他者に伝え、理解を得られること。		
授業計画	(1)様々なメディアから情報を読み解く事例を体験する。 (2)内容紹介のための書籍を各自選択して発表する。		
教材・教科書	「教科書」は使わない。		
参考図書			
参考URL			
授業以外の学習	新聞・専門誌などを通じて世の中の動きにアンテナを張りましょう。		
成績評価の方法	自己評価/点検を総括する期末レポートを書いてもらう。		
成績評価の基準	平常点(演習運営への貢献度)および期末レポートの評価。 A:すべての項目で非常に高い水準である。 B:総合的に高い水準にある。 C:すべての項目で一定水準である。 D:授業評価の方法のうち2つが未達成である。 E:すべての項目で未達成である。		
オフィスアワー	メールにて事前の調整をする。 メンバーには携帯のアドレスを知らせる。		
留意点・注意事項	無断で欠席してはいけません。 やむを得ない場合は、事前にメールで連絡すること。		
その他	例年、「芋煮」(山形式と福島式)比較プロジェクトを企画・実践しています。		
カリキュラムにおける当該科目の位置付け1	幅広い教養/多角的・総合的思考(幅広い教養1)		
カリキュラムにおける当該科目の位置付け2			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け3			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け4			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け5			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け6			
カリキュラムにおける当該科目の位置付け7			

カリキュラムにおける当該科目の位置付け8	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け9	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け10	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け他	



Copyright (c) 2004-2011 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.